



若林まちみがき

推進事業

活動事例集



仙台市若林区

はじめに

町内会の皆様には、日頃より若林区政の運営につきましてご理解とご協力をいただいておりますことに、深く敬意を表し感謝申し上げます。

さて、地域社会では人口の減少や高齢化が進み、地域を取り巻く環境も変化してきました。住民の生活様式、価値観やライフスタイルも多様化・複雑化しており、行政だけでは対応することが困難な課題も増えています。

また、担い手不足など町内会を中心としたコミュニティの維持についても難しい状況に置かれています。

こうしたことから、安心して暮らせる住みよい地域をつくるためには、地域住民が多様な主体との協働を通じて、自ら積極的に地域課題を解決していく活動や取り組みが重要になります。

若林区では、連合町内会地区毎に町内会が抱える身近な課題を住民同士が共有し、解決策を考え、語り合い、協力して取り組む活動を伴走しながら支援する「若林まちみがき推進事業」を進めてきました。

この度、こうした地域の活動を紹介する事例集を作成しましたので、皆様の地域活動の一助にお役立ていただければ幸いです。

仙台市若林区長 佐々木 淳一

— 目 次 —

1 若林まちみがき推進事業とは	-----1
2 事業の進め方	-----2
3 地域づくりの考え方（一般社団法人 東北まちラボ）	-----3
4 各地区における取り組み	-----10
▶ (1)南小泉地区町内連合会 … 「一本杉町内会」 ～班長の役割周知と育成～	-----11
▶ (2)大和地区連合町内会 … 「大和町五丁目町内会」 ～地域ごみ出しの支援活動～	-----17
▶ (3)南材地区町内会連合会 … 「河原町町内会」 ～行事への参画と地域情報の共有～	-----23
▶ (4)七郷地区町内会連合会 … 「霞目地域まちみがき会」 霞目町内会・霞目背戸町内会・背戸東町内会 ～道路や堀の草刈りの負担軽減～	-----29
▶ (5)六郷地区町内会連合会 … 「沖野横堀東町内会」 ～公園清掃の参加者増を目指して～	-----34
5 若林まちみがき推進事業事例報告会	-----40

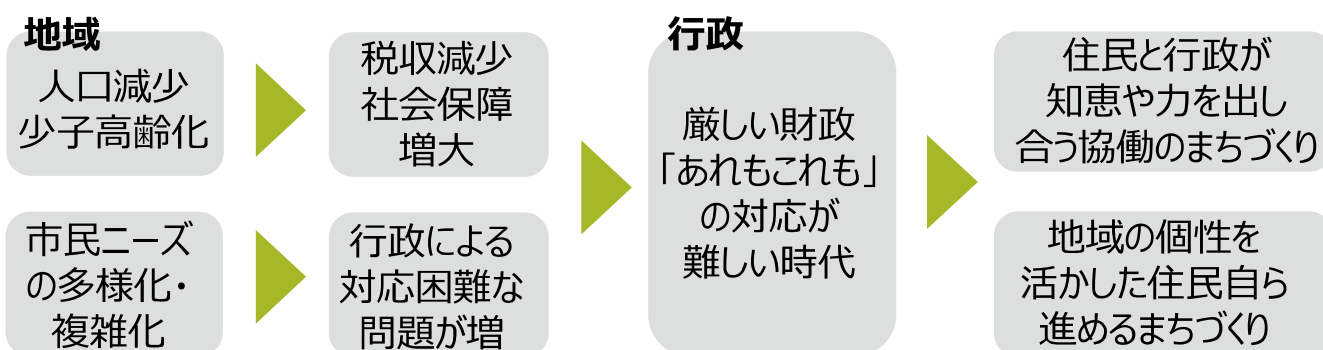
若林まちみがき推進事業とは・・・

住民主体のまちづくり

地域が抱える

住環境、防犯、ごみなどの様々な問題に
地域みなさんが主役となって解決を図ること

▶なぜ必要なのか？



自分たちの地域(まち)は
自分たちの手で作り、守る時代

みなさんと住みやすいまちづくりを
一緒に始めましょう

若林まちみがき推進事業 進め方

○若林まちみがき推進事業とは・・・

地域の問題・課題を地域と行政の協働で解決し、住みやすい地域の実現に向けた取り組み

なぜ、まちみがき推進事業を実施するのか・・・

○地域の課題を地域のみで解決しないといけない時代

自助 地域のみで 出来ることを なんとかする	共助 地域と行政が 協働で なんとかする	公助 役所や県や国に お願いして やってもらう
--	--------------------------------------	---

「なんとかする」ってなにをどうする？

みんなで話し合っ、アイデアを出して解決するしかない！

ステップ
1

○地域の心配ごとや困りごとを見つけて、地域のみでなんとかできないかを考える

- ・ 解決できるかどうか分からなくてもいい
- ・ たくさん心配ごとや困りごとがリストになっている事が大事
- ・ 『もうこれ以上、心配ごとがありません』という状態になるまでたくさん出すのが大事

ステップ
2

○困りごとを解決するアイデアをみんなで出してみる

- ・ 実現の有無はとりあえず抜きにして、とにかくたくさんアイデアを出す
- ・ みんなでやるためには、自分たちで考える必要があります
- ・ みんな、人から指示されるとやらないけど、自分で考えてことならやる（こともある）

ステップ
3

○アイデアの中から出来ることを探してみる（重要でやりやすいアイデアに絞る）

- ・ たくさん出されたアイデアに優先順位をつける
- ・ 「重要」で「やりやすい」アイデアが何かをみんなで決めます。

ステップ
4

○出来るアイデアを具体的に進めるにはどうするか考える

- ・ 誰がするかを決める（やる人、応援する人、やらない人）
- ・ どやってするかを決める

ステップ
5

○アイデアを実施して、長く続けられる方法を考える

- ・ 出来ることしか手を出さない
- ・ 楽しそうにやる
- ・ やらない人、できない人を責めない
- ・ やっている人をほめちぎる

（一般社団法人東北まちラボ 資料より）

若林まちみがき推進事業

地域づくりの考え方

一般社団法人 東北まちラボ

まちづくりって何??

地域の問題を
地域のみんなで協力して
解決する活動

参画と協働と参加型社会

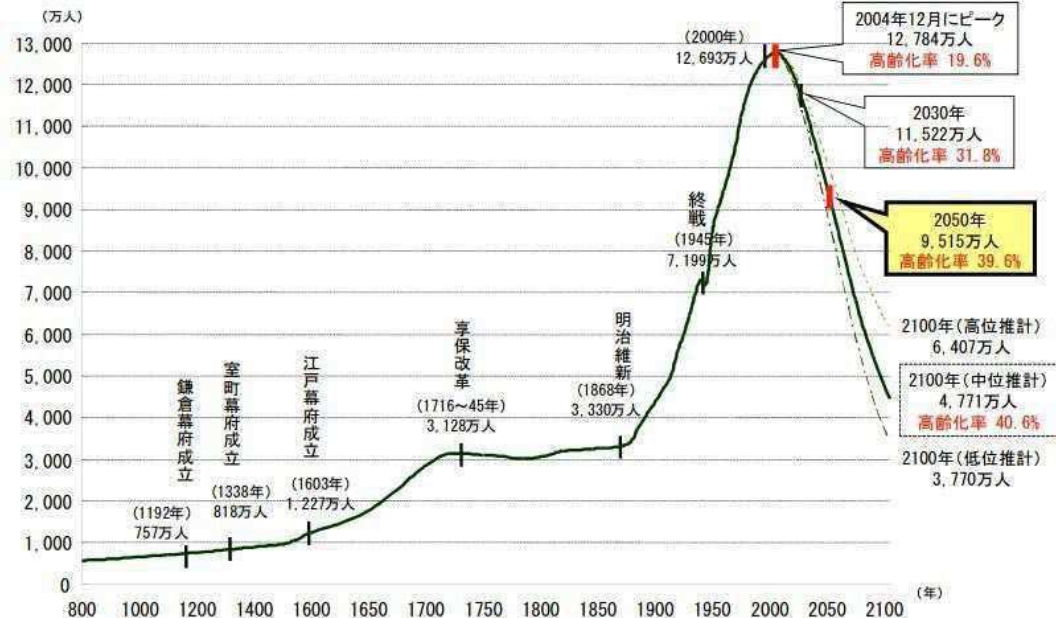
- ・ 上の立場の人が命令したり
- ・ 優位な意見の人が説得したり
- ・ そんなふうにもノゴトが決まる社会でなく

⇒ひとりひとりが主体的に関わり、相互に連携しフラットな関係の中で合意していくことが求められる

特に日本全国が抱えている問題

- ・ 人口減少
- ・ 高齢化
- ・ 少子化
- ・ 晩婚化
- ・ 単世帯化
- ・ 未婚率の上昇

○日本の総人口は、2004年をピークに、今後100年間で100年前(明治時代後半)の水準に戻っていく可能性。
この変化は千年単位でみても類を見ない、極めて急激な減少。



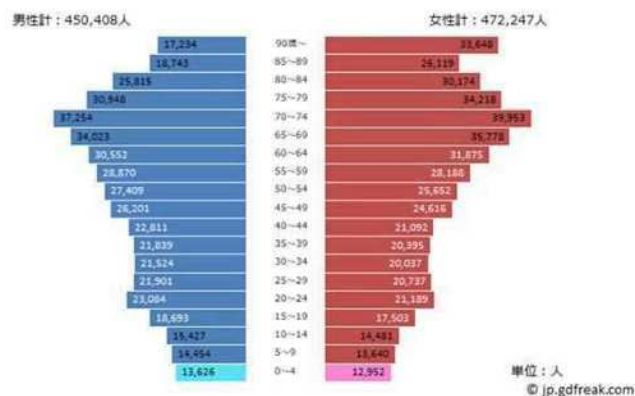
(出典)総務省「国勢調査報告」、同「人口推計年報」、同「平成12年及び17年国勢調査結果による補間推計人口」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成18年12月推計)」、国土庁「日本列島における人口分布の長期時系列分析」(1974年)をもとに、国土交通省国土計画局作成

4

仙台市の2021年1月1日の人口構成(住民基本台帳ベース,総人口)



2045年 仙台市の人口構成(予測)



組織の数 > 担い手

地域が抱えている主な問題

- ・ 役員の担い手不足
- ・ 若者、女性の参画が少ない
- ・ 担い手の高齢化
- ・ 何期も役員を務める
- ・ 担い手の重複
- ・ 町内会加入率の低下
- ・ 町内会活動への興味、関心の低下
- ・ コロナ禍の町内会活動
- ・ 独居高齢者の増加 などなど

・ 地域の課題が多様化している

少子高齢化、耕作放棄地の増加、役員の担い手不足、地域のコミュニケーション不足

・ 社会構造が激変した

人口減少、少子高齢化、各種団体の維持困難、地域行事の継続困難

・ 地域コミュニティが変化している

価値観の多様化やライフスタイルの変化によって住民同士のつながり欠如

・ 町を取り巻く環境が変化した

地域によって地域の課題やニーズが異なり、画一的なサービスでは住民のニーズに対応できなくなっている。

・ 地域で解決できそうな問題・課題は地域で取り組む

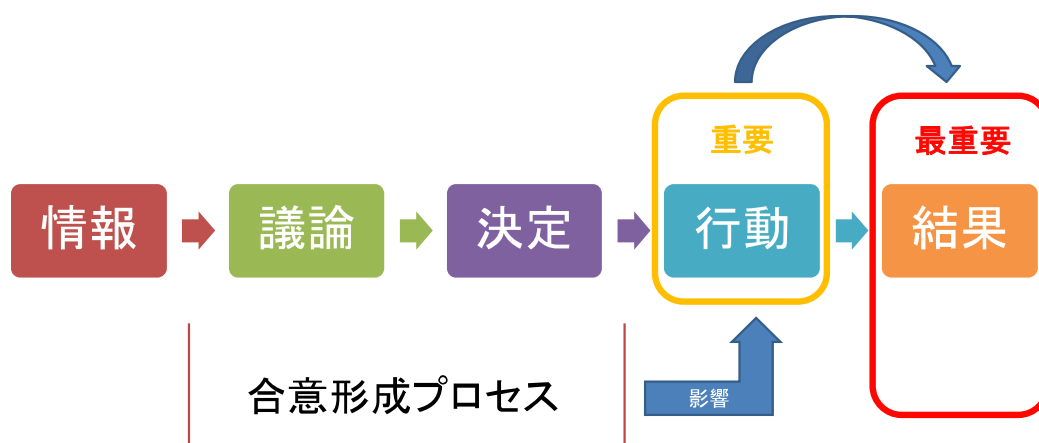
各地域で共通の課題などは、地域自治システムの広域的な範囲を網羅する組織で解決への取り組みを実施する。



人口減少・少子高齢化社会の自治組織

- ・ 新しい地縁社会の必要性
- ・ 意思決定のプロセスが重要
- ・ 意思決定のプロセスの正当性
- ・ 令和の町内会運営にアップデート
- ・ 組織のスリム化
- ・ 地域と行政の役割分担を明確に

意思決定のプロセスについて



よい意思決定プロセスは、良い行動に繋がり、よい結果を生む

新しい地縁社会のイメージ

昭和時代の地縁社会	平成時代の地縁社会	令和時代の地縁社会
強力なリーダーが 引っ張っていく 個人の能力に頼る	明確な目標に向かって 組織で取り組む 仲間の能力に頼る	目的ごとに組織をつくり 取り組む 目的に応じて仲間を変える
・地縁血縁関係の強さで成立する ・圧倒的な才能と力とカリスマ性がある一人のリーダーが必要 ・意思決定がリーダーの裁量で決まる ・自治会の維持が目的化する恐れがある	・自治会が何をするとところか整理が必要 ・自治会に何をもちめるのか ・明確な目標設定が必要 ・個々の主体性が重要	・目的に応じてメンバーが変わる ・目標が達成すれば解散する ・興味関心のある事業に参加できる ・個々の主体性と自律的自律が必要

一般社団法人 東北まちラボ

兵庫県での地域コミュニティの再生・構築のノウハウを生かし、東日本大震災では、被災地コミュニティの再生を行政とともに支援をしています。

また、令和元年の台風で甚大な被害を受けた丸森町や角田市などでもまちづくりを支援しています。

橋本大樹代表理事は、まちづくり・地域づくりコーディネーターです。



若林まちみがき推進事業では、自分たちの地域（まち）は自分たちの手でつくる地域主体のまちづくり活動を区役所と伴走型で取り組んでいます。

このような、まちづくり活動には、様々な場面で住民の合意形成が重要となります。合意形成の進行役をまちづくりコーディネーターが担うことで、コーディネーターが持つ知識や経験によるアドバイス等を活かしながら、課題の解決に向けた取り組みを進めています。